



ひがしとよなか だより

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

令和6年（2024年）度5月号

豊中市立 東豊中小学校

校長 河上洋介

「ひがとよ」の「よ」

学校だより4月号でもお伝えした通り、本校では、求める子ども像を次のように設定しています。

<求める子ども像>

ひ ひろく豊かな思いやりの心を持つ子（支えあい、協力できる子）

が がんばりぬく強い意志を持つ子（進んで体を鍛え、めあてを持ってやりぬく子）

と トライ&エラーの心でたくましく、チャレンジする子（失敗を恐れず、挑戦する子）

よ よりよい人間関係を構築する子（人とのつながりや信頼関係を築く子）

この求める子ども像について、入学式や始業式、全校朝会で、校長から子どもたちに話をしました。そのとき、まずは「ひがとよ」のうち「よ」で始まる「よりよい人間関係を構築する子」についてがんばってほしいと伝えています。簡単に言うと、お互いに、相手のことを大切にする事です。具体的には、低学年の子には、あいさつをがんばってほしいと伝えています。朝、先生や友達に会ったときの「おはよう」、何かをしてもらったときの「ありがとう」、けんかをしてしまったときの「ごめんなさい」等が言えるようになるというと思います。中学年の子には、例えば、友達と一緒に遊ぶときに、自分がしたい遊びが、友達がしたい遊びと違ったとき、どうやって解決すればいいか、考えられるようになってほしいと伝えています。そして、高学年の子には、例えば、林間学舎や修学旅行に向けた学習の中で、自分の意見を大切にするのと同じように、相手の意見も大切にしながら、自分だけではなく、全員が楽しかったと思える宿泊行事を自分たちの手で作り上げてほしい、と伝えています。

この他にも、「ひがとよ」の「よ」、「よりよい人間関係」を作るためにできることは、い

ろいろあると思います。ご家庭でも、折に触れ、「相手を大切に^{きもち}する気持ちのこもった^{おも}いねいな言葉遣い^{ことばづか}をしようね。」等と、お子様に^な話^{はなし}をしてあげてください。

コミュニティスクールについて

コミュニティスクールとは、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくために学校運営協議会が設置された学校のことを言います。本校では昨年度から学校運営協議会が設置され、委員の方からいただいた意見を学校運営に生かしています。昨年度は、例えば、以前はPTAが主催していた餅つき大会について意見をいただき、地域との協働による取り組みとしての開催につなげることができました。学校運営協議会は傍聴が可能です。傍聴は事前申し込み制となりますので、希望する場合は、5月8日（水）までに校長あてお知らせください。

第1回学校運営協議会

○日時 5月22日（水）18時30分～19時30分

○場所 北館4階多目的室

○内容 ・会長、副会長の選出 ・学校運営の基本的な方針の承認
・地域、保護者、学校の協働による取り組みにかかる熟議

<お知らせ>

豊中市の子育てに関する相談窓口を紹介します。

相談窓口	教育センター		こども・教育総合相談窓口
形態	来所相談（予約）	電話相談	来所相談（予約）
電話番号	06-6844-5231	06-6840-8121	06-6398-9211
相談内容	子どもの心理や行動、言葉に関する相談。 発達検査だけの受付はしていません。		教育、福祉、障害福祉、保護者 自身の子育ての悩み等。